

【研究課題の名称】

日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析

【研究の目的及び意義】

心血管疾患に対するカテーテル治療の進捗は著しく、本邦でも積極的に実施され治療法として重要な位置を占めている。しかしながら、その実態をデータ（年間施行症例数、術成功率、合併性発生率、患者の治療1年予後状況など）は現存していない現状である。

カテーテル治療の本邦全例レジストリー登録を通じて臨床研究の推進とその成果の普及をもつて、診断治療技術の向上と芸術文化の発展に資することにより、心血管疾患の予後改善の責務を広く社会に果たす目的。また本邦における心血管インターベンションの全容を正確に把握し、カテーテル治療の発展とその質の向上へと寄与することができる。また、心血管インターベンションにおける今後の課題を明らかにし、その課題を解決するための方法を検討していくことが可能となる。このことにより各種のインターベンション手技の安全性を確立することができるものと期待される。

【研究対象者の選定方針】

日本心疾患インターベンション治療学会にて2010年11月1日～2012年12月31日までにUMIN、2013年1月1日以降にNCDのJ-PCIならびにJ-EVT/SHD上に登録したデータ。

【研究予定期間】

承認日（西暦2021年2月16日）から西暦2027年3月30日